

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第339号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2015年1月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

あけましておめでとうございます



全国マーチングコンテスト

新年を迎えて ~さらなる改革を目指して~



校長

片桐 知己治

新年あけましておめでとうございます。

2015年、新しい年の始まりです。

この1年を振り返ってみると、まずは、約83%に当たる高校3年生329名が東海大学に合格し、希望の専門分野に進学することが決まりました。剛健旅行は台風のために中止となってしまいましたが、その他の各行事は大成りに終わり、たくさんの思い出が創れました。

4月からスタートした、学校完全6日制、部活動の試合とテストが重なるため、試験の日程を変更するなどということもありましたが、現在はうまく進んでいます。6日制実施により、基礎学力のさ

らなる定着が期待されます。

2014年度も高輪台の部活動は頑張りました。昨年3年間連続全国大会出場のため吹奏楽コンクールに挑戦できなかった高校吹奏楽部が復活を賭けてコンクールにチャレンジしました。自由曲は「白鳥の湖」、8月10日の予選、9月21日の都決勝が府中の森芸術劇場で行われました。高輪台に異動してきてから20年が経ちますが、演奏中に感動して涙が流れてきたのは今回が初めてでした。それほど高輪台の演奏は素晴らしく、結果はダントツの金賞、他校を大きく引き離して全国大会への復活を果たしました。10月26日名古屋で行われた全国大会には、本校の学校説明見学会とぶつかったため、私は応援に行けませんでした。学校を代表して応援に行ってくれた池田先生も、高輪台の演奏直

後に「とても素晴らしい演奏でした。他校とは別次元のできていた」というメールを私に送ってくれました。しかし、数時間後に送られたメールで残念ながら高輪台は銀賞だったと伝えられたのです。点数で勝ち負けが決まるスポーツの試合とは違うので、審査員の方々が判断して銀賞ならば、それを素直に受け入れなくてはならないことは、教育者としては当然のこと。結果にこだわってはいけなくて、わかり切っているはずなのに、やはり悲しくて、悔しくて。朝礼での表彰では、「校長として金賞をあげたい!」と思わずコメントしてしまいました。

さて、悔しい思いをした本校吹奏楽部は11月23日に大阪城ホールで行われた全日本マーチングコンクールに2年連続出場を果たし、「星条旗よ永遠なれ」を含む5曲をアレンジして演奏、見事2年連続金賞受賞! 翌日の朝日新聞朝刊に大きな見出しが掲載されました。

柔道部が5月6日に関東大会を決めました。成田で行われた関東大会では、1回戦の壁を破ることはできませんでしたが、来年度また挑戦してほしいと思います。軽音楽部が8月2日狛江エコルマホールで行われた都決勝に進出。MADARAが特別賞を受賞して8月20日小田原で行われた全国大会に初出場しました。軽音楽部はさらに11月24日の東京都高校対抗バンドフェスティバルでDARARAがグランプリを受賞しました。6月15

日にはダンス部が文京シビックホールで行われた「日本ダンス大会全国大会」に初挑戦で初出場。8月3日には大阪中央体育館で行われた「ダンスドリル全国大会」に出場しました。

この他、いろいろな部活動の試合応援に行かせていただきましたが、どこの会場でも熱心な保護者や家族の皆さんの応援、そして、駆けつけたOBの応援が選手たちを励ましてくれていました。たくさんの部活動が、関東大会、全国大会に出場しましたが、そこまでは届かなかったけれど、アメリカンフットボール部が都準々決勝まで進出して東京都ベスト8になったのがとってもうれしかったです。1・2年生中心の若いチームなので、来年度も頑張ってくれると期待しています。

こうしたいろいろな活動が評価され、今年も高校の説明見学会には、たくさんの受験生が来校してくれています。5回行われた高校の学校説明見学会では、昨年を大きく上回る受験生に来校していただきました。まもなく中高の入試シーズンを迎えますが、東海大学の建学の精神に共鳴した新入生を4月にはお迎えしたいと思います。

今年もたくさんの飛躍を計画しています。タブレットと電子黒板を用いたICT教育の推進など本校の改革については、新年度を迎えた4月に詳しくお話しさせていただきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「第27回全日本マーチングコンテスト全国大会」金賞受賞!!



吹奏楽部 顧問 畠田 貴生

昨年に引き続き、マーチングコンテスト全国大会へ出場することができました。ただ、昨年と大きく違うのはメンバーです。吹奏楽コンクールに出場できなかった昨年は、3年生が主でしたが、今年はコンクール全国大会にも出場したため、1、2年生が主体のチームでした。メンバー81人中45人が1年生。しかし、少ない3年生を中心に皆よく頑張り、結果は見事に東京都代表! 大阪城ホールでの全国大会へ推薦していただきました。その後も、部員たちは厳しい練習に耐え抜き、大阪城での本番を迎えました。演奏開始直後から快心のファン

ファーレが鳴り響き、最後は最高の笑顔で終えることができました。結果は見事、2年連続の金賞!! 応援して下さった皆様のおかげです! 特にアリーナを快く貸して下さった運動部の皆さん、本当にありがとうございます。そして、部員を物心ともに支えて下さった保護者の皆様、感謝してもきれません。今後も、素晴らしい演奏をお聞かせできるように頑張ります!!

再び夢の舞台へ

吹奏楽部 マーチングリーダー 3年2組 宮田 七星

先輩方が果たした初出場初金賞の快挙に続き、私たち吹奏楽部は11月23日にマーチングコンテスト全国大会に出場することができました。マーチングの責任者に選んでいただいたのが今年の1月、ただひたすらに全国大会出場に向けて突き進んできました。力のない私の要求にも部員みんなは強気にサポートしてくれて、本番当日は今までの努力が報われた気持ちでいっぱいでした。そして、結果は金賞! 全員の目に涙があふれていました。これも、今まで支えて下さった皆様のおかげです。特に、アリーナで活動している運動部の方々には、たくさんのご配慮をいただき、本当にありがとうございました。そして、保護者の皆様、私たちが温かく見守っていただき、部員一同感謝の気持ちでいっぱいです。ご声援ありがとうございました。

2014年度学校運営方針

2014年度の学校運営方針重点目標達成に向けての本校の取り組みを紹介します。

本校の取り組み PART.3

実験を重視した理科授業を推進する

「書き方指導」の具体的対応と対策に取り組む

附属高校生のための海外研修の奨励

「東海大学学園オリンピック」
「中高生の理科体験授業」の奨励

「学園オリンピック参加関係者のための学部学科説明会」、
建学記念絵画・作文・小論文の応募への積極的な働きかけ

東海大学は1942年に学園を創設、その後1946年には旧制大学令により東海大学として認可されました。創立当初から本学は「文理融合」を教育理念とし、現在では23学部99学科・専攻・課程を擁する総合大学となっています。また、幼稚園から大学院まで、充実した独自の一貫教育を実施し、全国には14校の附属高等学校と7校の中等部(提携校含む)があります。

ここにあげたものは、すべての附属校が共通して取り組んでいるもので、全国に広がる附属校の横のつながり、そして一貫教育の縦のつながりという東海大学のスケールメリットが存分に活かされた取り組みであると言えるでしょう。理科教育を例にすると、附属校では、実験・実習を体系化して授業のための各種データを共有する試みを進めています。また、「中高生の理科体験授業」を通じて中高大が連携して中高生を指導する取り組みも行っています。

本校をはじめとする附属校では、生徒も教員も自校の中だけでなく、学園全体の大きな広がりの中で互いに学び合い、切磋琢磨しています。

第6回 中等部合唱祭開催

11月20日(木)に実施された合唱祭について、総合成績と各種表彰者を紹介いたします。本号の各学年ページでは、クラスごとの練習風景を感じていただけたと思いますが、このページでは各受賞者と金賞受賞クラスからの感想を寄せてもらいました。

☆金賞☆

最高のメンバーと共にとった金賞

3年B組 加瀬 美咲

私たちが合唱祭で歌った曲は「君とみた海」です。今年で最後の合唱祭だったので3Bの目標は金賞ただ一つでした。練習ではやはり男子と女子の温度差が激しく、何度もけんかをしました。でも、担任の近藤先生のやる気だけは伝わってきて、それだけが心の支えでした。最初のうち、男子たちはふざけてばかりでしたが、この合唱祭のために、金賞をとるために、12名の男子が髪を切ってきました。その時を境にクラスがまとまった気がしました。そこからは、一気にやる気も上がりA組だけには負けたくない気持ちが高まりました。そして本番。私は曲紹介をやることになり、その緊張もあって大変でした。でも私の中では一番いい歌が本番でできたと思いました。結果発表までの時間はあまりに長すぎて祈りました。

そして発表。1位は3年B組。私たちでした。その時の喜びは大きく、みんなで抱き合いながら、泣きました。本当にうれしくて、今まで頑張ってきたと心から思いました。

B組にとって、私にとって、とても良い経験ができ、良い思い出になったなと思います。3Bで本当に良かったです。

☆指揮者賞受賞☆

2年B組 阿部 翔

まさか自分が指揮者賞を受賞するなんて、まるでテストで満点を取ったかのようなうれしさを感じました。確かに合唱祭の朝まで練習をしていましたが、1年生、2年生の隣のクラス、3年生の指揮を見ていて指揮者賞は諦めていました。だから、自分の名前が呼ばれた時は本当にうれしかったです。今日まで頑張ってきたよかったと思えました。指揮の指導をくださった先生方や、アドバイスをくれた友人に感謝したい気持ちでいっぱいになりました。これからは、いろいろなことに積極的に取り組み、より良い学校生活を送っていきたいです。

☆伴奏者賞受賞☆

3年B組 渡辺 愛海

今回、合唱祭でクラスでは金賞、私自身は伴奏者賞をいただくことができ、本当にうれしかったです。私は合唱祭で一度も賞をとったことがなかったので、今年は絶対に賞をとりたいと心の中で思っていました。しかし、練習が始まり歌を聞いてみると、とても賞がとれるような状態ではありませんでした。伴奏も歌や指揮とずれてしまって、私は伴奏を諦めかけた時もありました。でもそんなとき、先生の言葉やクラスの皆のやる気で私も頑張らなければと思えました。本番まではクラス一丸となって練習に励みました。その結果、金賞と伴奏者賞をいただくことができ、頑張ってきたよかったと思えました。最高の思い出になりました。



受賞おめでとう!!

金 賞：3年B組

銀 賞：3年A組

銅 賞：2年B組

指揮者賞：2年B組 阿部 翔

伴奏者賞：3年B組 渡辺愛海

生徒会新役員決まる

10月30日、生徒会役員選挙で次年度の役員が決定しました。今年はずべて信任投票でした。新役員の多くは新規の役員ですので、高輪台高校・中部部の活動がさらに良くなるよう力を注いでくれると期待しています。生徒の皆さんも新役員のもと、生徒会活動が活発になるように協力をしていきましょう。

中部部生徒会新役員

会長 2年 B組 阿部 翔

副会長 2年 A組 磯野 未来

副会長 2年 B組 采女 琳香

会計 1年 B組 渡邊 夏希

書記 1年 A組 亀山 歩花



後列左から 渡邊さん、亀山さん
前列左から 采女さん、阿部君、磯野さん

高校生徒会新役員

会長 2年 9組 藤井 崇史

副会長 2年 1組 相川莉佳子

副会長 2年 3組 小澤みなみ

会計 2年 9組 望月 ルカ

会計 1年10組 浦 花果

書記 1年 6組 二宮 遼

書記 1年 6組 松川 弘樹



後列左から 松川君、二宮君、浦さん、望月さん
前列左から 相川さん、藤井君、小澤さん

中部部生徒会会長

2年B組 阿部 翔

中部部生徒会会長になりました、2年B組の阿部翔です。今回中部部生徒会は、新しいイベントを考え実行に移したり、今まであったイベントを工夫したりして、もっと盛り上がるようなものにできるよう頑張ります。まだ生徒会という新しい環境に慣れていないので、欠けている部分ばかりだと思います。そういうときは、皆さんの力を貸してください。一年間精いっぱい頑張りますので、よろしくお願ひします。

高校生徒会会長

2年9組 藤井 崇史

このたび、生徒会会長に就任しました藤井崇史です。

私は、一年間書記として生徒会の仕事を学び、今度は自分から学校を変えていける存在になりたいと思い、生徒会会長になりました。生徒会会長としてまず第一に、自分や生徒会の発言や行動に対して責任をしっかりと持ち、自分のできることなのかどうかを考え、生徒会の役員や委員会、部活動、生徒と協力して立会演説会で述べたように、生徒に対して学校生活がより過ごしやすい時間を与えられるようにしていきたいです。また、去年とは違う生徒会なので、完璧ではないかもしれませんが頑張りますので、皆さん、ルールを守って参加してください。生徒会はこれからも一生懸命頑張ります。



生徒会旧役員の皆さん、お疲れさまでした

学年だより 中1

合唱祭

11月20日(木)に合唱祭が開催されました。1年生にとっては初めての合唱祭でしたが、各クラスでは練習を工夫したり、厳しい練習に耐えながらも頑張った生徒が多かったようです。今回の合唱祭の感想を2名の生徒に語ってもらいました。

39人の声を1つにして

A組 伊藤 みなみ

今回初めて、吹奏楽部で合唱祭の練習をしりました。最初は正直、乗り気でなくて、みんなを引っ張っていませんでした。

放課後練習ではソプラノ、アルト、テノールとパートごとに分けて練習を行いました。みんなで声を出すこと、口を大きく開けること、笑顔で歌うこと、楽しく歌うことを毎日練習しました。ケンカしたこともありましたが、1Aのみんなが吹奏楽部の言ったことをしっかり守ってくれて、すごうれしかったです。前日の練習で、それまでで一番声も大きくて良い歌になったときは、一番最初に歌ったときよりもすごく上手でした。

そして本番、私たちはトップバッターでどのクラスの歌も聞かずに歌うので、どのくらい大きさが必要なかわからないまま歌いました。でも私は1Aが1つになって団結したように思えました。賞はとれなかったけど、協力や団結では一番のクラスだったと思います。

練習は裏切らない

B組 高林 大河

自分のクラスの合唱を終え、他のクラスの合唱を聞き、とても実感したのが練習をした分が結果につながるということです。

僕たちのクラスは練習ではなかなかまとまらず、笹井先生や新井先生に怒られることも多々あり、クラスの中でも、合唱祭の3日前までは全然みんなが緊張感を持っていませんでした。だけど笹井先生に「金賞を目指しても練習をちゃんとやらなければ金賞は取れないよ」と言われて、みんなが緊張感を持ち始めました。本番前の練習では、みんながまじめに練習に取り組んでいました。

そして本番、僕たちのクラスは全力を出し切りましたが賞はいただけませんでした。これが練習した分の結果だと痛感しました。また金賞が3年生という結果を受けて、僕たちよりも緊張感を持ち、精いっぱい練習に取り組んでいたからだだと納得しました。

だから来年は、今年の反省を生かして、練習中から全力で励み、クラス一丸となって「金賞」を目指していき、1つ上の学年も越していきたいです。来年は、絶対金賞を狙っていくので見ていてください。



はたらく消防の写生会表彰

10月23日、校長室にて「はたらく消防の写生会」入賞者の表彰が行われました。消防署の方が来校してくださり、直々に賞状を授与してくださいました。

校長先生に見守られるなかの表彰式で、5名の受賞者は慣れない雰囲気の中で緊張の色を隠せない様子でしたが、とても誇らしそうでもありました。

消防車絵画コンクール表彰



学年だより 中2

合唱祭

一斉公開授業の11月20日(木)に、中等部慣例行事である「合唱祭」が実施されました。音楽の授業だけでなく、放課後練習や朝練習を行い、クラス一丸となって合唱祭本番に臨みました。

その結果、両クラスとも昨年よりも数段上達した歌唱を披露することができ、B組は銅賞を手中に収め、さらに指揮者の阿部君は指揮者賞を受賞しました。来年度は金賞と銀賞を独占した現3年生の素晴らしい歌声を越えることを目標にしてほしいと思います。なお、曲名・指揮者・伴奏者は以下の通りです。

A組 曲名『COSMOS』
(指揮:鯨岡弘平、伴奏:小野友里有)

B組 曲名『HEIWAの鐘』
(指揮:阿部翔、伴奏:舘野ひとみ)

初めての伴奏

A組 小野 友里有

今年の合唱祭は、気持ちがすれ違ってばかりでした。でも合唱祭が近くなると、皆も少しずつやる気を出してきて、クラス目標のYDK「やればできるクラス」という雰囲気になりました。

学校に入って2回目の合唱祭でしたが、私は初めて伴奏をしました。出番が来るまで力強く楽譜を握りしめていて、気付けば手汗がすごくて自分でもびっくりしました。自分自身に大丈夫と言い聞かせて席を立ち、ピアノの前に向かいました。いざ弾き始めると、手汗と手の震えて指が滑りそうになりましたが、ミスすることなく弾けたのでよかったです。

入賞することはできなかったけれど、本当に楽しい練習期間でもあったし、充実した合唱祭でした。ピアノ伴奏を合唱祭までに仕上げるのができたのは、音楽の新井先生と親のおかげなのでとても感謝しています。このメンバーで行う行事がまた一つ減ってしまったけれど、残りの時間も楽しく過ごせたらいいなと思います。

HEIWAの鐘

B組 采女 琳香

私にとって、2回目の合唱祭がありました。今年はHEIWAの鐘を歌いました。昨年の3年生が金賞を受賞した曲なので、頑張ろうと思いました。

最初は音程も歌詞もわからなくて、どうしようかと思いましたが、アルトパートの皆で歌っているうちに、いろいろ教えてもらって少しずつ歌えるようになりました。

放課後の練習では、1年生も3年生もすごく声が出ていたので、負けないように歌わなければと思いつながら練習しました。

合唱祭本番になって1年生の合唱が始まると、昨年の自分たちよりはるかに上手で、とても焦りました。自分たちの出番になった時、すごく緊張してしまいました。練習の時の方が上手かったなと思いました。

ですが、結果は銅賞をとることができました。呼ばれた時は正直びっくりしましたが、とてもうれしかったです。来年は、今年の3年生を越えられるような合唱曲を歌って、金賞をとりたいたいなと思いました。



明るく元気な歌声を聴かせてくれたA組



一致団結しHEIWAの鐘が鳴り響いたB組



指揮者賞を受賞した阿部君

学年だより 中3

～歌声に思いをのせて～ 合唱祭

11月20日(木)合唱祭が行われました。1、2年生の時とは違い、大きな意味を持った合唱祭。頂上を目指して放課後、そして一週間前からは早朝練習。とにかく一生懸命練習をしていました。本番までには本当にいろいろなことがありましたが、無事に両クラス、金、銀を飾ることができました。頼もしい最上級生の姿を見せてくれました。今回は両クラスの指揮者の文章を紹介いたします。

A組「青葉の歌」

B組「君とみた海」

最後の合唱祭

A組 小川 涼香

先日、中等部として最後の合唱祭がありました。今回私は初めて指揮者となり、みんなをまとめる側になりました。練習を始めたころは、男女ともにまとまらず、大変な思いをしたこともありました。練習を続けてもなかなか上手にならず、B組の合唱を聞いたときはとても圧倒されて、自分たちの合唱がどれだけまとまっていないのか気づかされました。

そのころから私たちの合唱は大きく変わりました。合唱自体も全体的に声が大きくなり、最初のころとは比べものにならないほどでした。お互いに注意し合う人も出てきて、私をもっと頑張らなくてはと思いました。合唱祭が近づくにつれて、団結力も深まり、歌声も良い方向に向かっていきました。その歌声に私も先生も感動させられました。初めは、金賞なんて考えてもいませんでしたが、とれるかもしれないと思えるようになりました。本番前には、金賞を目指してクラスが一つになっていたと思います。結果、私たちは銀賞でしたが、最後はクラス全体が団結して歌うことができたので、悔しい気持ちは残りましたが、とても良い合唱祭でした。

金賞とれた！

B組 河西 俊輔

私は今回の合唱祭で近藤先生が背中を押してくれたことが大きなきっかけとなり、3年B組の指揮者をやらせていただきました。早速、動画サイトで曲を聴きながら練習をしました。しかし全体練習になると、動画とCDでは微妙にテンポが異なるため難しく感じました。次の大きな課題は、女子と男子の気持ちのすれ違いです。女子は最後の合唱で「結果」として思い出を残したい。男子はもっと楽しく合唱をしたい。お互いの思いはかけ離れていました。私も他の男子と同様に楽しければいい、そう思っていました。でも練習を重ねるにつれて、金賞を絶対にとりたいという気持ちに変わっていきました。本番に近づくにつれ、他の男子も「金賞」をとりたいという気持ちで統一され、みんなが大きな声を出すようになりました。本番当日、いよいよ自分たちの番。歌い始めから練習以上の声が出ていてとても驚きました。最後のハミングもきれいに響き、中等部最後の合唱を終えました。終了後、結果は金賞。指揮者賞はとれませんでした。しめくりの合唱祭として最高の終わり方ができました。私は体育祭の時にリレーでバトンを落としてしまい、責任を感じていましたが、今回少し恩返しができるような気がします。人生で最後の合唱になるかもしれませんが、このクラスで合唱ができて幸せでした。



3年間伴奏をしてくれた渡辺愛海さん。めでたく伴奏者賞です！おめでとう！そして、ありがとう！



学年だより 高1

建学祭②

今月も先月に引き続き、建学祭特集です。生徒諸君は、本校に入学して初めての建学祭を経験しました。建学祭というのは、数ある学校行事のなかでも、生徒たちが主体になって取り組むことができるものです。いくつか思い出を紹介したいと思います。

最高の建学祭

7組 浅倉 彩夏

建学祭を終えてまず一番に思うことは、この建学祭はさまざまな人に支えられてできているということです。建学祭実行委員会の宣伝・設営部門に所属する私は、門製作に追われて、準備期間中は夜遅くまで学校で作業しているというありさまでした。また、クラスの準備も進まず、クラスの実行委員とともに材料の手配などと忙しい日々が続きました。そんな折、英語スピーチコンテストのクラス代表に選出され、うれしい反面、緊張や不安に襲われ、正直なところ、精神的にも肉体的にも苦しく、帰宅しても夕食抜きで寝たり、朝も機嫌が悪く、家族にあたってしまったこともありました。友達にも少し嫌なことがあると、きつく言ってしまうたりして、イライラしていることが多かったです。しかし、「協力できることがあったらいつでも言ってね」という友人の言葉や、「一人で抱え過ぎないでね」という母の言葉のおかげで、準備も着々と進み、建学祭当日には金券が両日とも完売になるほど大盛況の中で無事に終わることができました。また、後片付けもとてもきれいにできました。さらには、皆の応援のおかげで、スピーチコンテストで優勝することができました。

7組のクラスの皆さん、宣伝・設営部門の皆さんに助けられて、初めての建学祭が最高のものになりました。来年と再来年の建学祭も、今回に負けない建学祭にしたいです。

次への想い

7組 山下 大輔

この学校に入学して初めて行った大きな行事でしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。

今回の建学祭で、私はクラスの建学祭実行委員を務めました。話し合いを進めていくなかで、なかなかクラスがまとまらず、このまま本番を迎えて大丈夫なのだろうかと思ったことがありました。しかし、建学祭が近づくにつれ、クラス全体がまとまりつつあると実感できるほどにまで、皆に活気とやる気が出てきました。それからというもの、時間の割り振りや役割分担などの決めるべきものはすぐに決まり、教室の装飾も楽しく行うことができました。

建学祭両日、大きなミスもなく、来校者の方々に楽しい時間を提供できたのではないかと考えています。

私は1年生なので、あと2回建学祭があるわけですが、来年以降、今年の実験を生かしてクラス実行委員になり、皆をまとめたり、他の実行委員の手助けができればいいなと思っています。そして何よりも、2年次、3年次では、より良い建学祭になるように努力したいと確信しました。



ペットボトル処理中の松本月穂さんと荒井真尋さん



保健委員の千葉帆乃伽さん



食券販売中の笠原莉紗さんと加藤みなみさん



建学祭準備中(7組)



お客さん待ち(6組)



お客さん待ち(1組)

学年だより 高2

新部長からのメッセージ

ほとんどの部活動・同好会では、高校3年生が引退し、高校2年生が部長となり、中心学年として頑張っています。今月号から3回にわたり、各部長・会長の意気込みや目標をお届けしていきます。

ダンス部

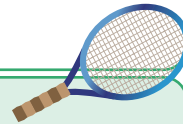
3組 野津 美梨加

現在ダンス部は男女共に春の大会に向けて練習を行っています。男子1チーム、女子2チームの計3チーム全てが予選を通過し、幕張メッセで行われる全国大会で良い結果を残すことが目標です。また、引退した先輩方が表彰台にのぼることができなかった夏の大会で優勝することを最終目標とし、春の大会で良い結果を残してチームとして大きく成長し、夏の大会につなげられるようにダンス部全体で頑張っていきます。応援よろしくお願いします！

アーチェリー部

3組 田中 健太郎

新たにアーチェリー部の部長となった私の目標はたった一つ、とてもシンプルなもの。それは、とにかく大会で入賞を目指すこと。現在、部内の高校生アーチェリー大会は、上位入賞を一部の強豪校の選手に席巻されています。そんな現状に「矢」報いて、さらにその先、強豪校の一つに数えられるレベルに近づくため、日々の練習に励みたいと思っています。



アメリカンフットボール部

2組 小野田 渉

アメリカンフットボール部の部長を務めさせていただいている、小野田渉です。僕たちは関東大会の出場を目標として、日々練習に励んでいます。昨年は東京都ベスト8という成績で、関東大会出場を目の前にして負けてしまいました。この悔しさを忘れずに、自分自身も日々成長していきたいです。フットボールはチーム一丸になることが大切です。チーム一丸となって必ず関東大会に出場します。応援よろしくお願いします。

弓道部

7組 阿部 甲洋

私は人と話すことが下手です。それ故に人をまとめる能力は決して高くありません。部長となり、皆をまとめるようになるには自分を変化させなければなりません。今の私に必要なのは自信だと思います。部の中心となって引っ張っていく部長になるために、どんなに小さなことでも自分を大きく成長させていく糧にしていきたいです。



茶道部

8組 野口 未来

私は活動中のメリハリをつけることで、より精度の高いお稽古ができるよう、心掛けていきたいと思っています。部長2年目でもあり、今年は特に、新2年生が3年生になったときのことを考え、少しずついろいろなことを伝えていきたいと思っています。さらに良い部活動になるよう、一生懸命務めます。

ソフトテニス部

5組 後藤 寛明

ソフトテニス部部長になりました後藤寛明です。新チームの目標は関東大会出場です。これを成し遂げることは簡単なことではありません。一日一日の練習時間を貴重に使い、常に感謝する気持ちを忘れずに、周りから応援されるチームをキャプテンとして作っていききたいと思います。チームをまとめるという仕事はとても難しいと思いますが、良い結果を出せるように頑張っていきたいです。

ゴルフ部

9組 磯野 駆

僕たちの目標は、全員が大会に出ることです。大会に出るためには、ゴルフの技術だけでなく、体力や強いメンタルやゴルファーとしてのマナーが必要になってきます。そのためには日々の練習はもちろん、上級生と下級生のコミュニケーションが重要になっていきます。新体制になり部員が10人と少ない分、全員で話し合い、協力して、個々の力が最大限に発揮できるような環境を作りたいと思います。

男子バレーボール部

9組 谷川 諒

私の部長としての抱負は、部員をプレーで引っ張れるキャプテンになることです。私には皆をまとめるようなカリスマ性やリーダーシップがありません。だから私はプレーで部員を引っ張れるようなキャプテンを目指しています。そして私たち男子バレーボール部は、大会で2日目出場を目標に、日々練習に励んでいます。また周りからも応援されるような部になろうと頑張っています。



写真部

4組 田中 友里恵

新部長になり、部員をしっかりまとめるか不安もあります。しかし、部員1人ひとりの個性を生かした作品を多くの人に興味を持ってもらえるようにすること、フォトコンテストにも積極的に応募し、入選から大賞を目指すことを目標に活動していきたいです。校内展覧会も月に一度行っているので、「こんな作品を撮っているんだ」と見てもらえたらうれしいです。



学年だより 高3

学年集会 「もしドラ」—もしあなたたちの人生が物語のようにドラマチックな展開ではなかったとしても

11月6日のホームルーム活動は高校生活最後のシンポジウム(学年集会)でした。今回は「もしドラ」でお馴染みの作家・岩崎夏海氏をお迎えして、アニメ版「もしドラ」(第1話)の視聴と「夢」をテーマとした鼎談を行いました。文系の3クラスは引き続き2時限の授業でも氏を囲み、これからの社会を生き抜くための術についてのお話をうかがいました。「人間万事塞翁が馬」—普段とは異なる角度から物事を考えることで、視野と未来の可能性を広げることができた生徒も少なくなかったと思います。



あなたは、今までどんな「夢」を諦めてきましたか？

- ★吹奏楽コンクールの全国大会で金賞を取ること。(1組・女子)
- ★細くてかわいくて、モデル体型で美人で、髪さらさらで手がきれいで鼻の高い人になりたかったです。(8組・女子)

あなたがこれまでの人生の中でいちばん誇りに思っている「挑戦」は何ですか？

- ★中3のときに難関校に受験したこと。けっきょく失敗に終わったけれど、間違いなく人生でいちばん勉強した1年でした。(2組・男子)
- ★これがいちばん! と決められないくらい、誇りに思う挑戦をたくさんしてきました。技術面や人間関係などを乗り越えてきたからこそ、今の自分があります。(6組・男子)

あなたは高校卒業後、どんな「道」に進みますか？

- ★大学へ進学しますが、バイトして、遊んで、授業に行くというのではなく、何か部活動に入って、たくさんものを得たいと思っています。(4組・女子)
- ★最終的には自分でお店を運営することが目標です。でもまずは何か職に就きたいです。私自身、多趣味なのでいろんな仕事に就いてみたいというのが本音です。(7組・女子)

全体の感想

- ★世の中にはまだ自分が出会ったことのない考え方をしている人がいる、ということを知ることができました。「夢」をあんなふうに言う人と初めて会い、そのときはとてもムカつきましたが、考えてみるとあながい納得できる部分もありました。もっといろいろな人と出会いたいです。(3組・男子)
- ★努力は必ず報われるというのは嘘だと思うときがある。でも、夢を叶えるために努力をするという過程が大切だと思うから、その努力する過程を忘れてはいけないと思った。(5組・男子)
- ★最初にプリントを配られたときに「小説家になるという夢を叶えた人に『夢は叶わないで言われても説得力がない』と思いました。しかし、野球という夢を諦めた結果、夢が小説家変わったということがわかったので、夢を諦めた先にも選択肢はあるのだなと思いました。(9組・男子)



「夢を諦める」ことの重要性を語る岩崎夏海氏



鼎談の様子(左:佐藤典くん・中央:山元嶺くん)



野球部女子マネージャー・石田彩紀子さんから花束の贈呈

特別校外学習「鎌倉」

高校生活の思い出に残る行事として、鎌倉散策を実施しました。集合場所である円覚寺を見学した後、生徒たちは班ごとに、建長寺・寿福寺・高德院(鎌倉大仏)・銭洗弁財天・県立近代美術館鎌倉などの見学先を回り、有意義な一日を過ごしました。

- 鎌倉は家から近くて何度か行ったことがあるので、最初はあまり期待していませんでしたが、思ったよりもすごく楽しかったです。移動中も普段はあまり話さない班の人たちという話ることができてよかったです。(1組 古橋駿介)
- 鎌倉は街並みに合わせてコンビニの外観やパーキングエリアを地味な色にしています。小町通りや御成通りでたくさん食べ歩きできたし、お昼ご飯では有名なしらす丼のお店で食べられたので、とても満足できました。(2組 村田彩乃)
- 普段行かない美術館とか工芸館も行って、鎌倉の歴史を感じることができ、鎌倉についてもっと知りたいと思いました。お寺とかに行って、お年寄りの方にもたくさんお話ができたりして楽しかったです。(3組 田嶋菜摘)
- 3年生最後の行事が最高のものになりました。今、観光を学んでいるので、歴史以外にも観光対象としての鎌倉を見ることができたのでよかったです。(4組 山田あすか)
- 銭洗弁財天に行くまでの道のりが大変でした。銭洗弁財天から小町通りに行く途中、「千と千尋の神隠し」に出てきそうなトンネルを見つけました。リスも初めて見ることができて、意外にシッポが大きかったです。(5組 山本ちひろ)
- 中学生の時も鎌倉に行きましたが、その時その時で感じる感じが違うんだと感じました。自分の知識が増えた状態でお寺を見ることができたり歴史を知ることができたりと楽しかったです。(6組 田中友梨)
- 鎌倉研修は歩いてまわることで歴史に生で触れることができ、自然に囲まれた環境があまりないので、久しぶりに自然に囲まれて気持ちが良かったです。また機会があれば行ってみたいと思います。(7組 水上亜利紗)
- 高校3年生の最後で鎌倉に行くことができてよかったです。普段ならあまり行かないようなお寺などにも行くことができて、とても良い経験になったと思います。(8組 荻澤翔子)
- 今回は円覚寺・銭洗弁財天・浄智寺・鶴岡八幡宮に行きましたが、どれも風情のある建物ばかりでした。特に鶴岡八幡宮がとても大きいことに気づきました。この校外学習で、その当時の建物がどんなものかということがわかりました。(9組 飯田隆嗣)



SSH活動報告

SSHプログラムでの研究課題の中に、「英語プレゼンテーション力を育成し、国際性を高める」というものがあります。この研究課題に向けて、毎年数多くのプログラムを行っています。今回はその中で、英語でプレゼンテーションをして海外の人と交流を行った3年生に感想を書いてもらいました。

自分の位置を知る

3年9組 柳澤 優吏

11月8日から12日まで京都で行われた立命館高校主催の「JSSF」に参加してきました。それは世界各国から科学を研究する生徒たちが集まり成果を発表するという催し物です。海外の生徒たちの研究は私たちのとは比べものにならないほど高度なもので、力量の差を見せつけられました。発表会以外にも、技術者による科学体験講座や、海外の生徒たちとの交流会もありました。参加生徒のほとんどが英語で困る様子もなく話し、私たちは語彙力のなさで上手に話すことができず、大変な思いをしました。全体を通して思ったことは、自分たちのレベルが低く、周りの圧倒的な知性の高さに肝を潰され、無知さに焦りを感じたことです。「このままでは駄目だ、もっと勉強しなくては」と強く思いました。私は高校生のうちにこのような経験をさせていただいて、とてもうれしく思いました。この経験を無駄にせず、これからも科学も英語も励んでいきたいと思います。



ゲームを通して文化交流

東海大学博士課程中間発表会に参加して

3年9組 渡辺 麻衣

11月22日、課題研究で行ってきた研究を、英語で発表してきました。日本語での発表は何回か経験がありましたが、英語の発表は初めてでした。まず、パワーポイントやポスターを英語にするのが大変でした。英語で発表する場が少ないので、この発表会に参加することができてよかったです。また、大学院生や留学生の博士課程の発表を聞くことができ、未来に担う研究をされていて難しいお話でしたが、私たちの質問に丁寧に答えてくださり、よく理解できました。昼食時にも、発表した皆さんと交流しながら食べることができ、充実している発表会でした。最後に、大隅良典先生によるオートファジーの研究についての講演を聞くことができ、とても興味を持ち1時間半もあった講演の時間がとても短く感じました。今回の貴重な体験をこれからのいろいろな活動に生かしていきたいです。



英語で発表しました

ロシア・ガस्पロム校と交流

3年9組 大木 章裕

10月29日、ガस्पロム校の生徒とSSHの生徒で、研究発表会を通して交流をしました。私たちの班は、エネルギーと環境問題について英語で発表しました。日本のエネルギー事情を最初に説明し、その後日本で使用されている発電方法や開発されている新技術について紹介しました。ガस्पロム校の生徒たちもエコロジーについて研究したことを発表してくれました。興味深い内容もあり、英語でしたが理解することができました。質疑応答も英語で行いました。ガस्पロム校の質問の仕方が、ただ質問を言うだけではなく、最初に自分の意見を述べてから「あなたたちはどう考えますか?」という形式で質問をされました。このように「自分の意見を述べてから質問をする」質問の仕方は、双方にとって良い形式だと感じました。今回の交流で、母国語ではない英語でのやり取りの難しさを痛感しました。またこのような機会があったら、英語でやり取りがうまくできるように頑張りたいです。



交流会が終わって

TOKAI キャンパスメッセージ

海を知り、海を活かす!! 海洋生物科学科

東海大学生物学部海洋生物科学科 南 秀樹

この学科では海洋生物とそれを取り巻く環境、水産資源としての活用法を学んでいます。「環境・生態科学系(海を知る)」では、海や河川・湖沼生物の生態系について学ぶとともに、水の化学成分や波・流れなどの環境を調べる方法を修得します。「水産科学系(海を活かす)」では、水生生物のからだの構造や仕組みと、種の増やし方や展示方法など生物の飼育方法についても学びます。北海道の自然を生かしたホエールウォッチングや釣魚実習、沖縄でのダイビングを中心とした環境生態系実習などの野外実習や、水族館、漁協、環境調査会社などでの職業体験(インターシップ)も充実しており、海のエキスパートを育てます。将来は本学科で修得した専門知識と技術を生かして、水産、食品関連、漁業、水族館、薬品関連など、海や生物に関わる仕事への道が拓けます。また、海洋、河川、湖沼などの環境調査会社、教員や研究職へ進む学生も多くいます。

【主なフィールド実習】

○野外調査実習(ホエールウォッチング)

太平洋の室蘭沖を中心とした海域で調査を行います。イルカやクジラの行動や群れの様式などの生態を観察します。さらに潮目や鳥の群れなどの周囲の環境にも注目し、生息環境を考察します。

○野外調査実習(フィッシング)

北海道の豊富な自然を対象としたさまざまな釣りの方法を学ぶとともに、釣り体験を通して、魚の分布、行動および自然環境との関わりを習得します。最初に釣りに関する基本的なルール・マナー、釣りの楽しみ方、魚の行動や習性、仕掛けの作成方法を講義により習得した後、現地(小樽市内埠頭や支笏湖)に出向き、各自作成した仕掛けを用いて釣りを体験し、釣り上げた魚の同定や計測、胃内容物査定を通して魚の生態を学んでいきます。

○亜熱帯海洋フィールド実習

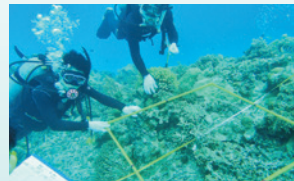
沖縄の西表で行うダイビング中心の実習です。ダイビングのライセンスを取得した学生が行う生物・生態系の調査方法を学ぶ実習です。網取湾という海域を

中心に、シーカヤックによる河口域および河川の生物調査、珊瑚礁内のスノーケリングやダイビングによる観測などの実習を行います。いつも見ている北海道の海と比較しながら学んでいきます。

【付属高校体験授業】

毎年夏休みの8月に付属高校生1・2年生対象の体験授業を行っています。海洋生物科学科が授業で行っている野外調査実習(ホエールウォッチング)や、臨海実習などのフィールド系実習の簡易なものを体験してもらい、寿都臨海実験所や札幌キャンパスの実験施設の見学を通して、海洋生物科学科のカリキュラムと関連施設について理解していただけるチャンスですので、ぜひ参加してみてください。

ホエールウォッチング



サンゴ礁でのライン観測

カマイルカ



支笏湖での実習

海って楽しい!

石原 彩香

東海大学生物学部海洋生物科学科3年(東海大学付属第三高等学校 2012年3月卒業)

私がなぜ地元長野県から遠い北海道の大学に進学したかという、長野県は海に接しておらず日常生活で「海」と関わることがなかったからです。小さいころからその生活を送ってきたことで海に対して憧れを抱くようになり、海洋生物科学科のある札幌キャンパスに入学を決めました。海に無縁だった私にとって海洋について学ぶことは初めてのことで、毎日が私にとって刺激となっています。

この学科の特徴は、少人数制であるため、先生方とのコミュニケーションが密であることです。そのため勉強や日常生活の相談などを頻繁に行うことができます。また、もう一つの特徴として、本学科では

水中生物の採集や水の化学分析、水の物理について、さまざまな実習を通して学ぶことができます。それは近隣の河川での実習や、東海大学が持つ「望星丸」に乗船して、日本海や太平洋でのフィールド実習など他の学校でできない体験が数多くあります。これらを通して仲間との関係も深いものになります。

この学科に入学してよかったと思うことはもう一つあります。それは両親のありがたさを再確認できたことです。私は、地元の長野県から北海道の大学に通うことになったため、現在は親元を離れて一人暮らしをしています。一人暮らしをすることで食事、洗濯、掃除などの家事の大変さや、

家族の温かさを知ることができます。

このように、自分の知らない環境に勇気を振り絞って飛び込んだおかげで、高校時代の自分よりも成長できたと確信しています。この勇気で将来の夢も見つけることができました。一緒に北海道という地で海洋について学びませんか? きっと新しい自分を見つめることができると思いますよ。



ナポレオンフィッシュとの記念撮影

お知らせ

チャレンジ検定!

漢字検定 1月16日(金)

数学検定 1月17日(土)

英語検定 1月24日(土)

行事予定

January 1月

February 2月

- 6日(火) 新春懇親会
- 7日(水) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 8日(木) 2年生学年集会(中等部・高校)
- 11日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(5回目)
- 12日(月) **成人の日**
- 14日(水) 専門医によるカウンセリング
- 15日(木) 生徒による授業評価アンケート
高校推薦入学試験願書受付
- 16日(金) 漢字検定(希望者)
- 17日(土) 数学検定(希望者)
- 20日(火) 中等部入学試験願書受付、
第1回(~1/31)・第2回(~2/2)・第3回(~2/4)
校医相談日
- 22日(木) **高校推薦入学試験** 生徒自宅学習日
Tokyo Sightseeing Tour(中等部1年)
- 23日(金) 高校推薦入学試験合否発表
- 24日(土) 英語検定(中等部)
- 29日(木) 卒業試験(中3、~31日)
- 31日(土) 特別講座終了(高3)

- 1日(日) **中等部第1回入学試験**
- 2日(月) 中等部第1回入学試験合否発表 生徒自宅学習日
- 3日(火) **中等部第2回入学試験** 生徒自宅学習日
- 4日(水) 中等部第2回入学試験合否発表
- 5日(木) **中等部第3回入学試験** 生徒自宅学習日
- 6日(金) 中等部第3回入学試験合否発表 答案返却日(中3)
- 7日(土) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 10日(火) **高校一般入学試験** 生徒自宅学習日
- 11日(水) **建国記念の日** 高校一般入学試験合否発表
ニュージーランド海外英語研修(中3、~20日)
- 15日(日) 新1年制服採寸・教材販売(中等部・高校推薦)
- 17日(火) 校医相談日
- 18日(水) 専門医によるカウンセリング
- 19日(木) 基礎力判定テスト②(高1・2、5教科)
- 22日(日) 中等部新入生・保護者登校日(10:00~)
新1年制服採寸・教材販売(付属一般)
- 23日(月) 登校日(高3) 振替休日(中3)
- 28日(土) 3年生を送る会 高輪会入会式(高3) 短縮授業

救急救命講習



編集後記

年の瀬に行われた、総選挙も大きな風も吹くことなく、自民党の圧勝で終わった。選挙にかかる費用は約700億円。国民が政治に期待するのではなく将来に不安を抱いているのが恐ろしい。そんな中、小惑星探査機「はやぶさ2」が、昨年12月3日、1999JU3目指し約52億キロのロマン溢れる宇宙の旅に出発したのは心が躍る。帰還するのは6年後の2020年、東京オリンピックが終了したころ。大学を卒業し大人になった生徒の姿を想像するのもまた喜ばしい。平和な1年であることを願いたい。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>